

マテリアリティ

東邦ガスグループでは、経済的価値・社会的価値の両面から評価した重要課題をマテリアリティとして特定しています。

マテリアリティ特定のプロセス

サステナビリティ情報開示の国際基準であるGRIスタンダード*を参考に、東邦ガスグループビジョンの検討に合わせ、ステークホルダーからの期待等を踏まえて個別課題を抽出。抽出した課題を経済的価値・社会的価値の2つの側面から評価し、関係各所との意見交換後、経営会議、取締役会を経てマテリアリティを特定しています。

* 国際的NGO「グローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI)」が発行するサステナビリティ情報開示に関するスタンダード

STEP
1

個別課題の抽出

「グループビジョン策定プロセスにおける検討内容」「ESG評価機関の評価項目」「ステークホルダーからの期待」などを踏まえて、個別課題候補を洗い出し、各部へのヒアリングを経て、最終的に30の個別課題を抽出しました。

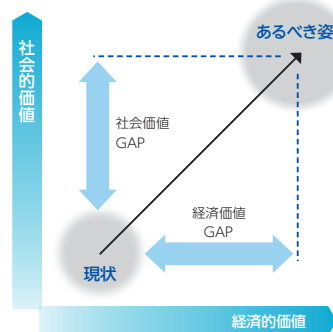
STEP
2

抽出した個別課題の整理・評価

STEP1で抽出した個別課題を基に、ワークショップにおいてマテリアリティ候補を検討。持続可能な社会と新たな東邦ガスグループビジョンの実現に向け、縦軸を社会的価値、横軸を経済的価値とする2軸で、個別課題をマッピングしました。そのうち、共通する要素を持つ課題のグルーピングを実施しました。



マテリアリティ ワークショップ



STEP
3

マテリアリティの特定

STEP2でグルーピングした内容についてディスカッションを行い、マテリアリティ案として整理。経営会議、取締役会を経て、マテリアリティを特定しました。

マテリアリティに対応する取り組み課題と目標は、中期経営計画2022-2025と連動しています。

マテリアリティ

カーボンニュートラルの推進



多様なエネルギーとサービスの提供



安全・安心かつ安定したエネルギーの供給



社会課題解決を通じた地域への貢献



働きがい・働きやすさの向上とダイバーシティの推進



コンプライアンス・ガバナンスの強化



取り組み課題

- ガスのお客さま先の低・脱炭素化
- 社会全体での累積CO₂排出削減への貢献

- ガス自体の脱炭素化等に向けた技術開発

- 水素の普及拡大に向けた基盤構築

- 電気の低・脱炭素化

- トータルエネルギープロバイダーとしての発展

- 国内外のエネルギー関連ビジネスの拡大
- 暮らしを豊かにするサービス、ビジネスを支援するサービス等を通じた価値提供

- 保安対策・災害対策の推進

- 低廉かつ安定的な調達

- 地域共生の取り組み強化

- CSR調達の推進
- 資源循環の推進

- 生物多様性保全

- 人材マネジメント
- ダイバーシティ&インクルージョン
- 柔軟な働き方の実現
- 安全・健康管理

- リスクマネジメントの推進、情報セキュリティの強化

- コンプライアンスの推進

目標(2025年度)

- CO₂削減貢献量 100万t
- 事業活動でのCO₂排出原単位抑制 ▲2%/年

- CO₂分離回収やメタネーションの技術開発・実証の推進

- 地域における水素サプライヤーとしての確固たる地位の構築

- 再エネ電源取扱量 25万kW*1

- 都市ガス・LPG・電気のお客さま数 300万件*2

- デジタル接点 会員数 130万件
- 新規サービスイン件数 10件程度/年

- 重大事故ゼロの維持
- 保安対策・災害対策の強化

- 調達先の多様化

- 社会課題解決やレジリエンス向上につながる地域共生の取り組み強化

- 地域と連携したSDGs貢献活動、次世代層へのSDGs関連教育の実施

- 調達状況の確認、関係先と連携したCSR調達の促進

- ガス導管工事から発生する廃棄物の再資源化率 99%以上

- 事業活動や地域貢献活動を通じた生物多様性の維持・復元、里山・森林の保全、地域固有種の保護への貢献

- 社員エンゲージメントの向上
- 管理職登用における多様性の確保

- 組織全体におけるコンプライアンス意識・リスク認識の共有・浸透

2022年度実績

- CO₂削減貢献量 30.7万t
- 事業活動でのCO₂排出原単位 対前年+3.4%

- 知多市と小規模メタネーションの協定を締結
- 米国キャメロンLNG基地を活用した日本へのe-methane導入に関する詳細検討の開始

- 知多緑浜工場で水素製造設備の建設に着手
- 都市ガス・水素燃焼の切り替えが可能な工業炉バーナの販売を開始

- 再エネ電源取扱量 9.3万kW

- エネルギーのお客さま数 292万件に到達(都市ガス 174万件、LPG 60万件、電気 58万件)

- 東南アジア(タイ・ベトナム)での工業用天然ガス販売事業へ参画

- デジタル接点 会員数 90万件
- 新規サービスイン件数11件/年

- 重大事故ゼロ
- 高経年化対策を推進(LNG工場の制御システム更新、高経年管対策)

- 環境変化に強いLNG調達ポートフォリオの構築
- 電力の安定供給に貢献する系統用蓄電池の導入決定

- 「みなとアクルス」が、環境省の脱炭素先行地域に選定
- 6つの自治体との包括連携協定の締結 ● 自治体等と共同で、地域新電力を新たに3社設立

- 学校教育の支援活動(出前授業、ガスエネルギー館)、EPOC「環境教育講座」の開催

- CSR調達方針およびガイドラインの策定・公表 ● パートナーシップ構築宣言を維持

- ガス導管工事から発生する廃棄物の再資源化率99.7%

- ビオトープの維持・管理、自治体等と連携した里山・森林保全活動を実施
- あいち生物多様性企業認証制度の認証企業に認定

- 全管理者を対象としたマネジメント研修を開始
- 若手社員向けに外部講師による講演会(TOHO MEETUP)を開催

- 女性管理職比率:3.4%(26人)、男女の賃金差異:73.3% ● 育児・介護との両立を支援する制度を拡充
- キャリア採用比率:25.5%(28人)、障がい者雇用率:2.40%

- 「健康経営優良法人2023～ホワイト500～」に4年連続で認定

- 基幹システムがサイバー攻撃を受けた場合を想定した訓練を実施
- 業務上の身近なリスクを題材とした職場ミーティングを実施

- 独禁法遵守に関わる施策を実施
- コンプライアンス研修動画の定期的な配信とライブライバー化による教育の充実
- 改正公益通報者保護法を踏まえた相談窓口の体制整備・利用促進

関連する主なページ

- P.25 カーボンニュートラルへの取り組み
- P.35 環境マネジメント
- P.39 地球温暖化対策
- P.80 電気事業

- P.25 カーボンニュートラルへの取り組み

- P.25 カーボンニュートラルへの取り組み
- P.77 技術開発・商品開発

- P.25 カーボンニュートラルへの取り組み
- P.80 電気事業

- P.71 都市ガス事業
- P.80 電気事業
- P.79 LPG・その他エネルギー事業
- P.81 事業開発

- P.71 都市ガス事業
- P.81 事業開発

- P.71 都市ガス事業

- P.71 都市ガス事業
- P.80 電気事業

- P.45 地域社会への貢献

- P.45 地域社会への貢献

- P.55 人権尊重への取り組み

- P.41 資源循環

- P.43 生物多様性保全

- P.49 人事諸施策の推進

- P.49 人事諸施策の推進

- P.53 労働安全衛生への取り組み

- P.61 内部統制
- P.63 コンプライアンス

- P.63 コンプライアンス

*1 2030年までの再エネ電源取扱量目標50万kW。再エネ電源取扱量には、国内外における電源開発・保有、FIT電源、調達を含む。 *2 都市ガス・LPG・電気合計の延べ契約件数 * 毎年、実績を取締役会報告のうえ開示予定